

### 3 日米文化交流関係

#### (1) 人形使節交換関係

327 昭和2年1月24日 関屋(貞三郎)宮内次官より  
出淵外務次官宛

米国より申入れの人形寄贈につき帝室博物館側  
の受入れ状況に関する回答

付記一 大正一五年二月七日着在米国松平大使より  
幣原外務大臣宛電報第三三三号  
米国学童より人形を蒐集し日本へ送付した  
き旨ギューリック博士来談  
二 大正一五年四月二十九日着在米国松平大使よ  
り幣原外務大臣宛電報第八六号  
ギューリック博士の提案に対し速かな応答  
回示方稟請

宮発第八一号 (1月25日接受)

昭和二年一月二十四日

宮内次官 関屋 貞三郎(印)

外務次官 出淵 勝次殿

#### 回答

客月十一日付報二普通第五三七号ヲ以テ在米松平大使申越  
ノ世界児童親善会ヨリ帝室博物館へ人形寄贈方ノ件ニ付御  
照会ノ趣了承本件ニ就テハ「ギューリック」博士ヨリ直接  
帝室博物館総長へ寄贈ノ旨申越ノ次第モ有之候ニ付受理シ  
陳列シテ日米親善増進ノ一助ト致度候御承知ノ如ク同館  
ハ去十二年ノ震災ノタメ二千余坪ノ列品館ハ大破シ取毀チ  
目下新館建築ノ計画中ニ候得共現在ニ於テハ僅ニ七百四十  
余坪ノ建坪ヲ有スル館宇ニテ時々列品ノ陳列替ヲ為シテ公  
開セル始末ニ有之折角ノ御厚意ニハ候得共帝室博物館ニテ  
ハ受理致シ常時陳列ヲナシ得ベキ余地無之候間文部省所管  
東京博物館長ト内協議ヲ遂ゲシメ候御同館ハ本年三月仮館  
落成ノ筈ニ付同館ニ於テ喜ンテ受理スル趣ニ候間右ニ御了  
知可然御取計相成度候也  
追テ「ギューリック」博士へハ本文同様帝室博物館総長ヨ  
リ回答致スヘキ筈ニ有之候ニ付申添候

#### (付記一)

ワシントン 省 大正15年2月7日前着 発

#### 第三三三号

Gulick 博士カ多年日米親善ノ為努力シ来レル事ハ予テ御  
承知ノ処今回同氏ハ其知人ト共ニ Committee on World  
Friend Among Children ヲ組織シ其第一ノ事業トシテ日  
米相互了解増進ノ主旨ヲ以テ当国各地ノ就学児童ヨリ二弗  
五十仙ヲ超ヘサル価格ノ人形出来得ヘクンハ数万ヲ蒐集シ  
各人形ニ日本ノ児童ニ対スル好意表彰ノ簡單ナル言葉ヲ付  
シテ本邦ニ送り当局ノ手ヲ経テ明年三月三日雛祭ヲ期シ本  
邦小学校在学ノ少女ニ之ヲ贈与方取計フト共ニ右人形送付  
ノ際之ヲ寄与セル各学校ニ於テ日本ニ関スル講演ヲ行ヒ当  
国児童間ニ日本ニ対スル智識ヲ涵養セントスル計画ヲ建テ  
既ニ相当準備ヲ進メ居ル趣ニテ本四日同氏本使ヲ来訪シ之  
ニ対スル本使ノ意見ヲ求メタルニ付本使ハ同計画ノ主旨ニ  
全然賛成ナルモ之カ実行上充分ナル成効ヲ期セシカ為ニハ  
予メ本邦当局並ニ渋沢子等ヲ中心トシ日米関係ノタメ尽力  
シ居ル有志ノ了解ヲ遂ケ置クコト肝要ナル可キ旨申聞ケタ

#### (付記二)

ワシントン 省 大正15年4月29日前着 発

#### 第八六号

往電第三三三号及第五三三号ニ関シ昨二十七日「ギューリック

ク」氏来館本計画ノ主旨ハ主トシテ当国ニ於テ対日好感ヲ涵養セントスルニアル処其後各方面ト接触ノ結果本計画ハ右目的達成上効果鮮カラサル可シトノ印象ヲ強ムルニ至レルヲ以テ日本側了解ノ下ニ是非之カ実現ヲ図リ度キ次第ナルカ既ニ相当時日ヲ経過シ此処ニ、三週間内ニ本邦側ヨリ確答ヲ得サレハ遺憾乍ラ本計画ノ実行ハ明年迄延期セサル可カラサルニ付成ル可ク速ニ御回答ニ接シ度キ旨申出テタリ然ル処本邦側回答遅延ノ事情ハ色々有之可クトハ察セラレルモ徒ニ遷延ノ結果平素同博士等ノ有スル対日友情ニ面白カラサル影響ヲ与フルカ如キ事アリテハ遺憾ニ付本件実行上何等困難トセラルル事情アルニ於テハ速ニ其旨先方ニ回答スル事然ル可クト存スルニ付何分ノ儀至急御回答ヲ請フ

尚「ギューリック」氏ハ本件ニ関シ二週間前渋沢子ニ詳細ナル書面ヲ送り本件幹旋方依頼シタル旨付言シ居リタリ

328 昭和2年1月28日 在米国松平大使より  
幣原外務大臣宛(電報)

親善人形の到着予定日取について

特命全権大使 松平 恒雄(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

米国児童寄贈人形ノ本邦ニ於ケル歓迎振ニ関スル  
紐育「タイムズ」社説送付ノ件

世界児童親善会主催ニテ米国児童ヨリ本邦児童へ寄贈セル人形ニ対スル本邦ニ於ケル歓迎振ニ関シテハ累次ノ貴電ニヨリ御通報ノ次第ヲ当方ヨリ「ギューリック」博士へ通報シ置キタルカ右以外ニ於テモ本件ニ付テハ本邦ヨリノ各種通信ニ依リ比較的詳細ニ当国各新聞ニ報道セラレ一般ニ注目ヲ惹キタル処本月十四日ノ紐育「タイムズ」ハ本件ニ関シ特ニ社説ヲ掲ケ本邦ニ於ケル人形歓迎会ニ皇族方ノ御臨場アリタル外駐日米国大使、文部大臣、渋沢子爵ノ演説アリタルコト等ヲ叙述シ日本ニ於ケル此等人形ノ歓迎振ヲ賞讃シ居ルニ付キ何等御参考迄ニ右切抜一部茲ニ送付ス

330 昭和2年5月25日 田中外務大臣より  
在米国松平大使宛(電報)

米国寄贈の人形に対する答礼人形寄贈に関し  
先方の意志確め方訓令

ワシントン 1月28日後発  
本 省 1月29日後着

第三三三号  
貴電第二三三三号ニ関シ

「ギューリック」博士ニ問合セル処既ニ紐育ヨリ發送セル人形数八千七百十四ニシテ結局此方面ヨリノ分ハ一万二達スヘク此ノ外桑港ヨリ發送ノ分ハ確報ナキモ一千乃至二十位ナルヘキ旨又Miss America其他州名ヲ付シタル代表人形ハ鳥羽丸ニテ三月二日横浜着ノ筈ナル旨回答アリタリ尚本件人形本邦着ノ際其ノ歓迎振及之カ分配状況等問合ノ向モアルニ付右模様モ成ルヘク詳細御通報ヲ請フ

329 昭和2年3月14日 在米国松平大使より  
幣原外務大臣宛

米国寄贈の人形のが国における歓迎振りに  
関するニューヨーク・タイムズ記事について

公第一六八号 (4月8日接受)

昭和二年三月十四日 在米

本 省 5月25日前発

第二二九号

日本国際児童親善会ニ於テハ曩ニ米国世界児童親善会ヨリ寄贈ノ人形ニ対スル答礼ヲ兼ネ本邦児童ノ友情表示ノタメ本邦各府県代表人形約五十個寄贈シタキ希望ナル処先方ニ於テ之ヲ受領スヘキヤ否ヤ「ギューリック」博士ヲ通シ御確メノ上回電アリタシ

331 昭和2年5月29日 在米国松平大使より  
田中外務大臣宛(電報)

日本側の人形寄贈を欣諾する旨の先方回答に  
ついて

ワシントン 発  
本 省 5月29日前着

第一七一号  
貴電第二二九号ニ関シ  
先方ノ意向ヲ問合タル処喜テ御受スヘキ旨回答アリタリ

332 昭和2年7月12日 田中外務大臣より  
在米国各総領事、領事宛

親善人形関係行事の経過について

報二合第六六五号

昭和二年七月十二日

外務大臣男爵 田中 義一

在外館長殿

世界児童親善会主催米国児童ヨリ本邦児童へ人形

寄贈方ニ関スル件

多年日米親善ノ為尽瘁シ来レル「ギューリック」博士首唱  
ノ下ニ昨春世界児童親善会ナルモノヲ組織シ日米相互諒解  
増進ノ趣旨ヲ以テ広く米国児童ヨリ人形ヲ蒐集シ之ヲ我文  
部省ノ手ヲ経テ本邦児童ニ寄贈ノ計画ヲ樹テ在米大使館ヲ  
通シ我文部省側ノ賛同ヲ得本省ニ於テモ大蔵省ニ交渉シテ  
右寄贈人形ノ輸入税ヲ免除セシメ外務、文部両省並日米協  
会、日米関係委員会、婦人平和協会、国際連盟協会及帝国  
教育会等ノ共力ニヨリ日本国際児童親善会（会長渋谷子  
爵）ヲ組織シ主トシテ中心トナレル文部省ノ熱心ナル努力  
ニ依リ本件事務モ円満ニ終了シタルヲ以テ茲ニ御参考迄本

激トニ充チ居タリ而シテ参列者ニハ人形寄贈ノ趣意書及  
人形絵葉書ヲ贈呈セリ

一、人形ノ分配

頭初発起者側ニ於テハ寄贈人形ハ文部省ヨリ之ヲ全国ノ  
各公立小学校ニ配布シ当該学校ノ校長又ハ教師ニ依リテ  
選抜セラレタル優良子女ニ与フヘキ意向ヲ有セシモ我文  
部当局ニ於テ斯克テハ分配洩レノ者ニ及ホス精神上ノ影  
響面白カラサルヲ以テ寧ろ全国各小学校及幼稚園ニ分配  
シ各学校ヲシテ毎年三月三日雛祭ヲ行ハシメ右人形ヲモ  
陳列セシムルコト最良法ナルヘシトノ意向ナリシニ依リ  
右ニ対スル先方ノ意向ヲ問合セタル処先方ニ於テモ異存  
ナカリシ為受領人形ハ先ツ文部省ヨリ之ヲ各府県ニ配布  
シ（植民地、外人学校、学習院等へモ配布）各府県ニ於  
テハ抽籤ニ依リ或ハ収容児童数ノ多少ニ依リ或ハ主要市  
町村トイフカ如キ地域の区分ニ依リ或ハ外人児童ノ在学  
ヲ顧慮スル等種々ノ標準ニ基キテ夫々之ヲ各学校ニ分配  
シタルカ是等府県及学校ニ於テハ何レモ人形歓迎会ヲ催  
セリ

一、「ミス・アメリカ」及各州代表人形

件成行ヲ列記シ別添付属書類ヲ送付ス<sup>(省格)</sup>

一、人形ノ種類及箇数

人形ハ高サ約十五吋、価格三弗位ノ「Mamma Voice  
Doll」ニシテ衣服、化粧品及「メッセーヂ」等ヲ所持セ  
リ当方ニテ受領セル人形ノ総数ハ約一万二千箇ニ達セリ

一、人形展覧会

二月二十五日以降三日間東京市内主要百貨店ニ於テ人形  
展覧会ヲ開催シタル処三月節句直前ナリシ関係モアリ多  
大ノ人氣ヲ博シタリ

一、人形歓迎会

三月三日明治神宮外苑日本青年館ニ於テ日本国際児童親  
善会主催ノ下ニ全国的意味ニ於ケル人形歓迎会ヲ開催セ  
ル処当日ハ竹田、北白川、朝香及徳惠各姫宮殿下ヲ初メ  
トシ日米両国ノ名士及児童等約二千名参列ノ上両国国歌  
及特ニ文部省ニ於テ作製セシメタル人形歓迎歌ヲ合唱シ  
日米児童代表者各四十九名ノ間ニ人形授受ヲ行ヒ其際  
「ヴァレンタイン」領事令嬢「ベッチー」（七才）及徳川  
家達公令孫ユキ子（八才）ハ夫々総代表者トシテ挨拶ヲ  
交換シ次テ米国大使及渋谷子爵ノ挨拶アリ終始平和ト感

是等代表人形ハ三月十四日鳥羽丸ニテ横浜ニ到着シタル  
カ十八日文部省係官ハ京浜関係者ト共ニ多数児童ヲ引卒  
シテ横浜港ニ到リ天洋丸社交室ニ於テ日米児童代表者間  
ニ授受式ヲ挙行セリ

右代表人形ハ三月二十六日文部当局ヨリ全部照宮殿下ニ  
献上シタル処「ミス・アメリカ」ヲ除ク他ノ人形ハ四月  
二日、「ミス・アメリカ」ハ七月六日何レモ多クノ御土産  
物ト共ニ御貸下ニ相成リ加之皇后陛下ニ於カセラレテハ  
是等人形ヲ収容スル為特ニ三越ヲシテ調製セシメラレタ  
ル家屋ヲモ同時ニ御下賜ニ相成リ右ハ文部省直轄ノ東京  
博物館上野別館ニ陳列シテ七月九日ヨリ一般公衆ノ観覧  
ニ供スルコトトセリ

一、返礼

本件人形寄贈ニ対シテ当方ヨリ何等カ返礼ヲ為スコトニ  
付テハ先方ニ於テ初メヨリ之ヲ要求スル意思無ク唯各受  
領者ヨリ寄贈者ニ対シ礼状ヲ送ルヲ以テ足ルヘキ旨再三  
申越アリ当方ニ於テモ返礼ヲ為ササルコトヲ条件トシテ  
之カ受領ヲ引受ケタル様ノ次第ナル処唯礼状ヲ送ルノミ  
ニテハ余リニ偉大ナル先方ノ好意ニ対シ未タ尽ササル所

アトノ意見各方面ニ出テ来リ為ニ日本国際児童親善会ニ於テハ謝意表示旁々本邦児童ノ友情伝達ノ意味ニ於テ全国各府県ヨリ代表人形ヲ蒐集シ之ヲ本年「クリスマス」迄ニ米国各州ニ到着スル様送付セムトスルノ計画ヲ樹テ目下夫々手配中ナリ

要スルニ本件ハ本邦各方面ニ予想外ノ好印象ヲ与ヘ当時新聞紙等ハ何レモ之ニ関スル記事ヲ以テ賑ヒ更ニ毎年三月三日各学校ニ於テ挙行セラルヘキ雛祭ト「ミスアメリカ」等代表人形ノ東京博物館陳列トハ相待チテ発起者及寄贈者側ノ好意乃至本件ノ目的ヲ十分達成スルモノト認メラル

附属書類次ノ如シ

A号：三月三日日本青年館ニ於ケル人形歓迎会ノ際使用セ

B号：人形受領者へ配布セルモノ

C号：「ミス・アメリカ」及皇后陛下ヨリ賜リシ土産物

本信送付先、在米各総領事、領事

333 昭和2年11月4日

田中外務大臣より  
在米国松平大使他宛（電報）

ホノルル 本 省 11月24日前着 発

第二七号

天洋丸ニテ米国ニ送付中ノ答礼人形ニ対シ当地日米人有志ヨリ展覽歓迎会開催ノ希望申出有リタルニ付<sup>編註</sup>関屋監督ニ子メ交渉シ十九日入港内外ノ出迎代表の人形「ミス・ジャパン」一個美術館ニ陳列シ午前十時ヨリ午後三時迄一般内外ニ從覽セシメ幼稚園ノ児童ノ歓迎唱歌並ニ舞踊有リ引続キ簡單ニ歓迎式ヲ行ヒタルカ從覽者五千人以上ニ達シ内外人ニ強キ印象ヲ与ヘタリ

編 注 関屋龍吉前文部省普通学務局長

335 昭和2年12月13日

在ロス・アンジェルズ水沢（孝策）領事より  
田中外務大臣宛

日本答礼人形の歓迎展覽会の模様について

公第二六一号

（昭和3年1月6日接受）

昭和二年十二月十三日

在ロスアンゼルス

領事 水沢 孝策（印）

米国への答礼人形の送別会開催について

本 省 11月4日後発

合第二三九号

日本児童ヨリ米国側へ答礼ノ為寄贈ノ人形五十八箇（内一箇ハ全国代表人形）ハ十月二十九日ヨリ市内主要百貨店ニ陳列シテ一般ノ觀覽ニ供シ多大ノ人気ヲ博シ居タリシカ十一月四日明治神宮外苑日本青年館ニ於テ日本国際児童親善会主催ノ下ニ人形送別会ヲ開キ北白川、朝香、竹田各姫宮殿下及徳恵殿下ノ御台臨アリタルヲ初メトシ日米兩國ノ有志及児童約二千名列席シ先ツ日米国歌ノ合唱アリタル後兩國児童代表者ノ挨拶及握手アリ次テ特ニ文部省ニテ作製セシメタル人形送別歌ヲ合唱シ更ニ渡沢子、米国大使ノ兩國親善増進ニ関スル挨拶アリ極メテ盛況ヲ呈シタリ

本電宛先 米、紐育、桑港へ転電アレ

334 昭和2年11月24日

在ホノルル桑島総領事より  
田中外務大臣宛（電報）

日本より寄贈の人形使節歓迎について

外務大臣男爵 田中 義一殿  
日本答礼人形展覽会ノ件

今般関屋氏携来ノ日本答礼人形ハ当市ニ於テ十二月六日ヨリ同八日迄三日間又同九日及十日ノ兩日「リヴァーサイド」ニ於テ盛大ナル展覽会ヲ開催セリ即チ十二月六日、七日ヲ当市ニ於ケル日本人日トシ一般日本人ノ觀覽ニ供シ一方人形ノ一部ヲ分離シテ近郊都市ニ小展覽会ヲ開キ尚又当市学務局ニテハ南加大学ヲ初メ市内十六校ニ亘リ学生ニ一々巡回觀覽セシメタリ同八日ハ南加大学学長ノ斡旋ニ依リ市図書館内ニ於テ公開展覽会ヲ開催セリ次テ十二月九日、十日「リヴァーサイド」ニ於テ有名ナル親日富豪「ミッシェン・イン」經營者「フランク・ミラー」氏ノ周到ナル斡旋ニ依リ一大展覽会並ニ人形歓迎晚餐会ヲ開催セリ右ノ如ク今回ノ答礼人形ハ到ル処ニ於テ日米人ノ熱誠ナル歓迎ヲ受ケ米国学生ヲシテ友情友邦ノ念ヲ喚起セシメタルノミナラス一般米人ニ対シ好感ヲ与ヘ所謂日米交驩上不尠好結果ヲ齎ラシタルモノノ如シ

本件新聞切抜等添付ノ上何等御参考迄茲ニ報告ス  
尚添付小冊子ハ<sup>（省略）</sup>当館ニ於テ千部印刷セシメ市図書館ニテ人

形展覧ノ際配布セシメタルモノナリ

336 昭和2年12月20日 在シカゴ田村領事より  
田中外務大臣宛

日本より寄贈の答礼人形展の概況について

普通第一六七号 (昭和3年2月1日接受)

昭和二年十二月二十日 在シカゴ

領事 田村 貞治郎 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

日本国際児童親善会寄贈答礼人形展覧概況報告

ノ件

本邦児童ヨリ米国児童ヘノ答礼人形ハ関屋龍吉氏携帯本月十五日着当市ニテ「ギューリック」博士ト落合ヒタルカ同日本官両氏ヲ主賓トシテ当市教会方面並ニ関係者等約三十余名ヲ招キ午餐会ヲ催シ翌十六日正午「ラサール・ホテル」ニ於テ基督教連合会「ガール・スカウト」女子基督青年会及在留邦人有志主催ノ下ニ人形歓迎会アリ市長代理、教会代表者及「ギューリック」博士等ハ交々日米ノ親交ヲ説キ

日「テイ・パーター」ヲ催シ国務長官夫妻外交団其他当地ノ重立タル者数百名ヲ招待シテ人形ノ一部ヲ紹介シタル処孰レモ本件催ノ趣旨及人形ノ出来栄ヘヲ激賞シタルカ一方当地ニ於ケル国際児童親善会其ノ他ノ関係者ハ委員会ヲ設ケテ熱心ニ人形歓迎ニ努メ本二十七日「ナショナル」劇場ニ於テ歓迎式ヲ催シタルカ席上国際児童親善会「エムリック」夫人及関屋氏ノ演説アリタル後本使次女ト労働長官「デービス」氏令嬢トノ間ニ人形ノ授受ヲ行ヒ次テ本使ヨリ挨拶ヲナシ労働長官及合衆国教育部長「Tigert博士等ノ演説アリ最後ニ米国ヨリ本邦ヘ寄贈セル人形歓迎状況ヲ映写セル文部省活動写真ヲ映写シタルカ前大統領「タフト」夫人、「ウイルソン」夫人、商務長官「フーバー」夫人等会スル者千数百名頗ル盛会ナリキ

(付記)

公第六九三号

昭和二年十二月二十八日 (昭和3年1月30日接受)

在米

特命全權大使 松平 恒雄

タリ人形ハ五個タケ当市美術館ニ於テ一般ノ展覧ニ供シ十七日ハ特ニ児童招待日トシテ茶果ヲ供シ多数ノ観覧者アリ何レモ人形ノ出来栄ヲ激賞セルカ新聞紙ハ何レモ人形ノ写真及記事ヲ掲載セリ何等御参考マテ切抜茲ニ送付ス

写送付先 在米大使

337 昭和2年12月28日 在米国松平大使より  
田中外務大臣宛(電報)

日本より答礼人形到着並びにそれをめぐる

歓迎会の状況報告

付記 昭和二年十二月二十八日付在米国松平大使より

田中外務大臣宛公第六九三号

日本より寄贈人形の歓迎振り詳報

ワシントン

本省 12月28日後着

第三二二号

本邦児童ヨリ米国側ヘ寄贈ノ人形著代表人形外十七個ハ付属品ト共ニ関屋氏携帯本月二十日当地著其ノ一部ハ当地ノ主ナル百貨店ニ陳列シテ展覧ニ供スルト共ニ本使ハ二十三

外務大臣男爵 田中 義一殿

本邦児童ヨリ米国児童ヘ寄贈人形ノ歓迎振ニ

関スル件

本件ニ関シテハ往電第三二二号ヲ以テ大要及報告置キタル処日本国際児童親善会主催本邦児童ヨリ米国児童ヘ寄贈セル本件人形中十七箇ハ其ノ付属品ト共ニ関屋龍吉氏之ヲ携帯シ紐育ヨリ市俄古迄出迎ヘタル「ギューリック」博士同道本月二十日当華府ニ到着セルカ之ヨリ先当地ニ於ケル国際児童親善会其他ノ関係者ハ委員会ヲ設ケ当館トモ連絡ヲ取り諸般ノ歓迎準備ヲ整ヘ右人形到着ノ際ハ右役員多数停車場ニ出迎ヘタリ人形ノ一部ハ其後直チニ之ヲ Woodward and Lorchlop 及 Karm 両百貨店ニ陳列シテ展覧ニ供シ又本使ハ二十三日茶会ヲ催シ国務長官夫妻外交団其他当地知名ノ士数百名ヲ招待シテ人形ノ一部ヲ紹介シタルカ何レモ本件催シノ趣旨及人形ノ出来栄ヲ激賞シ各新聞亦本件ニ関スル記事ヲ掲載シ一般ニ多大ノ興味ト好感ヲ喚起セル様見受ケラレタリ次テ本月二十七日米国側歓迎委員会主催ノ下ニ当地「ナショナル」劇場ニ於テ人形歓迎式ヲ催シタルカ別添「プログラム」ノ通国際児童親善会長「ヒーポデー」

夫人司会ノ下ニ日米児童ノ国旗捧呈（日本側ハ澤田参事官子息日本国旗ヲ捧ク）両国国歌ノ合唱等アリタル後右親善会幹事「エムリック」夫人米国ヨリ人形寄贈ノ経過ニ付演説シ関屋氏一場ノ挨拶ヲ為シ本使次女ト労働長官「デーヴィス」氏令嬢トノ間ニ代表人形ノ授受ヲ行ヒ右畢ツテ本使ハ別紙甲号<sup>（省魁）</sup>ノ通演説ヲ為シタルニ対シ「デーヴィス」労働長官ハ米国側ヲ代表シテ別紙乙号<sup>（省魁）</sup>ノ通り答辞ヲ述ヘ又合衆国教育部長「タイガート」博士ハ米国学童ヲ代表シテ一場ノ演説ヲ為シ前駐伊米国大使「ジョンソン」氏亦自作詩ヲ朗読シ最後ニ人形歓迎歌ヲ合唱シタル後曩ニ米国ヨリ本邦ヘ寄贈セル人形歓迎情況ヲ影写セル文部省作製活動写真ヲ映写シテ閉会セルカ同日ハ前大統領「タフト」氏夫人、「ウィルソン」氏夫人、商務長官、海軍長官、労働長官、農務長官等ノ夫人ヲ始メトシ其他来会者千数百名ニ及ヒ盛会ヲ極メタリ

右新聞切抜等添付茲ニ報告ス

338 昭和3年1月14日  
在サン・フランシスコ井田総領事ヨリ  
田中外務大臣宛

桑港市庁ノ大広間ニ陳列シ特ニ米人小学生ヲシテ観覧セシメタリ

十一月二十九日 同上

午前十時ヨリ一般公衆ノ観覧ニ供シ午後三時ヨリハ公式歓迎会開カレ日米両国歌ノ合唱ニ始マリ委員側代表「レーモンド」夫人日本協会長「ルーミス」氏柴田副領事桑港市長代理「レーネー」氏及関屋答礼使等ノ熱心ナル歓迎ノ辞及挨拶等アリテ後日米児童代表者ニ依リ仮讓渡式ヲ了シタルカ此等ノ状景ハ総テ活動写真ニ撮ラシメテ広く一般ニ宣伝スルコトトナシタリ右二日間ノ観覧者数無慮八、九千人ニ上レリ

十一月三十日 同上

午前十時ヨリ午後五時迄一般公衆ニ観覧セシメ多大人氣ヲ博シタリ

十二月一日「ジャッパン・ソサエター」主催ノ歓迎会  
午後三時ヨリ「フェリアモント・ホテル」ニ於テ開催サレ主催者側ヲ代表シテ「リスバガー」夫人柴田総領事代理及人形側ヲ代表シテ関屋氏ノ挨拶等アリ続テ日米両国児童代表者ノ間ニ人形授受式其他ノ「エキザサイス」

日本答礼人形の当地における歓迎振り詳報  
（2月15日接受）  
公第二五号

昭和三年一月十四日  
在桑港

総領事 井田 守三（印）

外務大臣男爵 田中 義一殿

日本答礼人形ニ対スル当地歓迎振報告ノ件

過般日本国際児童親善会ヨリ米国側協会ニ宛テ五十八個ノ答礼人形ヲ贈リ越セル次第ハ既ニ御承知ノ通ナル処右人形ハ去ル十一月二十五日当市ニ着「ニューヨーク」歓迎本部ニ発送セラルニ先チ左記順序ニ依リ当地米人及在留邦人ノ熱誠ナル歓迎ヲ受ケ一般ニ頗ル好印象ヲ与ヘタリ

十一月二十七日 桑港在留民主催歓迎会

午後七時ヨリ金門学園ニテ開催シ参列セルモノ約千五百ニ達シ日米国歌及特ニ作製セシメタル人形歓迎歌ノ合唱ニ次キ五名ノ少女少女ノ歓迎ノ辞及関屋答礼使柴田副領事等ノ挨拶アリテ後簡単ナル余興ヲ以テ盛会裡ニ閉会セリ

十一月二十八日 桑港市歓迎日

アリテ同五時ニ閉会参列者約七百名

十二月二日 「オークランド」市歓迎会

午前十時市長「デーヴィー」氏ノ公式引見ヲ始メトシテ午後二時ヨリハ市公会堂ニ於ケル米国児童ノ「レセプション」又同八時ヨリハ同所ニ於テ大人小供連合大歓迎会アリテ米人教会、商業会議所、基督教青年会ノ各代表者等及柴田総領事代理ノ熱誠込メタル歓迎ノ辞ニ関屋氏ノ答辞アリタルカ当夜ハ邦人児童ノ「エキザサイス」ニ加ヘテ日本ニ於ケル米国人形ノ歓迎振ヲ撮影セル活動写真ノ映写モアリテ大喝采ヲ博シタリ当日二回ノ「レセプション」ニ参列セル者ヲ数レハ各回優ニ三千ヲ越ユルノ盛況ヲ呈シタリ

十二月三日 「バークレー」市歓迎会

午前十時ヨリ同市高等学校内ニ陳列シ一般公衆ニ観覧セシムルト共ニ午後二時ヨリハ公式歓迎会ヲ開キ席上市長「ドライバー」氏前加州大学総長「バロー」博士ノ歓迎ノ辞ニ柴田総領事代理及関屋氏ノ挨拶アリテ閉会シタルカ展覧ハ午後九時マテ継続シテ観覧者一千余名ノ多数ニ上リ皆感激下賞讃ノ言葉ヲ残シテ閉会シタリ

右ニ関スル新聞切抜及写真等全部蒐集シ得タルニツキ御参  
考迄茲添付報告ス

339 昭和3年1月23日

在ニュー・ヨーク内山総領事代理よ  
り  
中外務大臣宛

ニュー・ヨークおよびボストンにおける答礼  
人形の歓迎振りについて

普通第三〇号

(2月15日接受)

昭和三年一月二十三日

在紐育

総領事代理 領事 内山 清 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

紐育「ボストン」ニ於ケル答礼人形歓迎振ニ関シ

報告ノ件

客年七月十九日付報ニ普通合第六六五号末段及松平大使宛  
貴電第三三二二号ヲ以テ御通知アリタル米国世界児童親善会  
ニ対スル日本ヨリノ答礼人形中十七個ハ関屋前文部普通学  
務局長携帶「ギューリック」博士ト同伴華府ヨリ客年十二  
月二十八日午後二時紐育市対岸「ジャージー・シテー、ボ

ストン」終了後直ニ是等人形ハ「ロード・アンド・テラー」百  
貨店ニ運ハレ十二月二十八日ヨリ翌年一月十四日迄一般ノ  
観覧ニ供スルコトナレリ  
翌二十九日ハ小官午餐会ヲ催シ「ギューリック」博士、関  
屋氏、佐々木属其ノ他日米人形交換関係者ノ日米人約二十  
余名ヲ招待シ関屋氏ヲ紹介スルコトセリ席上小官一場ノ  
挨拶ヲナシタルニ関屋氏、「ギューリック」博士交々起ッ  
テ其ノ日米人形交換ニ至リタル動機道程並ニ其ノ日米親善  
ニ貢献セルコトヲ述フル処アリタリ尚ホ同夜当地日本倶楽  
部ノ催ニ係ル「クラブナイト」ニモ関屋氏ヲ招待シ数個ノ  
人形ヲ陳列シテ参会者ノ展覧ニ供シタリ又十二月三十日は  
等十七個ノ人形ハ「シイヴィック・レパトリー」劇場ノ  
人形展覧会ニ陳列セラレタリ  
越エテ本年一月四日残部人形四十一個ハ「パナマ」經由当  
港ニ到着セリ

翌一月五日関屋氏、「ギューリック」博士ヲ主賓トスル  
「フェデラル・カウンシル・オブ・チャーチエス」及世界児  
童親善協会主催ノ午餐会アリ本官及関屋氏一場ノ挨拶ヲナ  
シ次テ同日午後四時当地「ヘラルド・トリビューン」紙社

ルテイモア、オハイオ」鉄道駅ニ到着数多ノ活動写真技  
師ニ取巻カレツツ一行ハ自動車ニ分乘市長護衛ノ巡查数名  
先導ノ下ニ市内ヲ一巡シタル後一行ハ同日午後五時紐育市  
庁ニ於ケル「ウォーカー」市長主催ノ「レセプション」ニ  
臨席スルコトナリ市庁ニハ代表人形三個ノミヲ陳列シ日  
米人約七、八十名列席セリ司会者「フィンレー」氏ノ挨拶  
ニ次キ「ギューリック」博士本計画ノ由来ヲ説明シ市長  
「ウォーカー」氏ハ「日米人形交換ハ日米親善上極メテ有  
意義ナルモノニシテ此種ノ企テハ全世界ニ行ハルヘキモノ  
ナリ」ト述ヘ「ローバート・アンダーウッド・ジョンソン」  
教授ハ自作ノ詩ヲ朗読シ本官亦一場ノ挨拶ヲ為シタル後関  
屋氏ヲ紹介シ関屋氏ノ謝辞アリ代表的人形「ミス大日本」  
ハ当地森村組支配人長女中山三都嬢ヨリ「ルーズヴェル  
ト」嬢ヘ渡サレタリ該「レセプション」ノ主ナル出席者ハ  
米人側市長「ウォーカー」氏「ジョンソン」教授及「ギュ  
ーリック」博士「カーミット・ルーズヴェルト」氏夫妻  
(故「ルーズヴェルト」大統領ノ次子)等ニシテ日本側ハ  
関屋前文部普通学務局長、小柳津陸軍大佐、松田海軍造機  
大佐、会社銀行支配人等約十数名等ナリキ「レセプショ

ン」長「オクデン・リード」氏ノ実母ナル富豪「ホワイトロ  
ー・リード」氏夫人(元駐英大使ノ夫人ナリ)主催ノ下ニ  
代表人形「ミス大日本」外十六個ヲ同邸内ニ運ヒ人形歓迎  
ノ茶筵アリタリ出席シタル主ナル米人側「ロックフェラ  
ー」夫人、「ルーズヴェルト」夫人、「ラモント」夫人、  
「ギューリック」博士等百五十名日本側ハ松平大使夫妻其  
他当地在留主要実業家、陸海軍人官吏等ニシテ知名ノ士多  
ク極メテ盛大ナリキ次テ同日ハ恰モ日本協会ノ年次宴会ニ  
当レルヲ以テ「ミス大日本」外二個ノ人形ヲ其ノ付属品全  
部ト共ニ飾付ケタル処大ニ米人列席者一同ノ興味ヲ湧シメ  
タルモノノ如ク思考セラル(年次宴会ノ状況ハ別信報告ノ  
通りナリ)

一月六日ニハ当地第一流ノ百貨店ナル「ロード・アンド・  
テラー」百貨店主主催ノ午餐会アリテ松平大使夫妻列席  
其場ノ光景ハ活動写真ニ撮影セラレタリ右午餐会ノ主ナル  
出席者米人側「ロバート・ユー・ジョンソン」教授(元ロ  
ーマ駐在米国大使)、「ミリカン」氏(元メイーン州知事)、  
「ヴァンダーリップ」夫人等ニシテ日本人側ハ松平大使夫  
妻其他当地在留主要人物ナリキ右午餐会ニ於テハ松平大使

ノ挨拶「ジョンソン」教授ノ自作詩朗読アリテ午後二時半盛會裡ニ散會セリ

一月十四日日本人会幹部及小官等ニ於テ関屋氏、佐々木属ヲ招待シテ其勞ヲ犒ヒ又同十七日ニハ日本人美以協會ニ於テ在留邦人ノ為メ人形展覽會ヲ開催セリ

「ギューリック」博士ニ就キ今後ノ計画ニ関シ聞ク処ニヨレハ「ロード・アンド・テイラー」百貨店ニ陳列シアル人形ハ一部ヲ「ポストン」ニ送付シ展覽ニ供シタル後再ヒ紐育ニ持チ歸リ然ル後ハ華府、紐育等ノ主要ナル美術館ニ大體三箇ツツノ割合ニ分配スル計画ナル由ナルモ如何ナル場所ニ何レノ人形ヲ配布スルカハ未定ニシテ追テ委員会ニヨリテ決定セラルヘシトノ事ナリ

客年十二月二十八日右答礼人形到着スルヤ同月二十九日發行当地主要新聞ハ市長「ウォーカー」氏ノ「レセプション」ノ光景ノ挿絵ヲ掲ケ日本ヨリ答礼人形渡來ハ從來ノ日米間ノ親交ヲ益々増進スルモノナリト述ヘ居レリ（詳細ハ別添新聞記事切抜<sup>省略</sup>参照相成度シ）

尚又「ポストン」ニ於ケル人形歡迎ハ大要左ノ如キ順序ニ於テ行ハレタル旨同地日本協會ヨリ報告アリタリ

屋氏ヲ主賓トスル午餐會アリタリ一月十二、十三、十四日ノ三日ニ亘リテ「ペエーン」家具店及「ジュイズ」商店ニ於テ答礼人形展覽會アリ

一月十六日「ポストン」市立図書館兒童部ニ於テ答礼人形展覽會アリ

尚「ニコールズ」市長ノ人形「レセプション」モ開催ノ答ナリシモ急用出来余儀ナク不在トナリタルヲ以テ無期延期セラレタル由ナリ

右報告申進ス  
本信写送付先 在米大使

340 昭和3年9月17日 在米國澤田臨時代理大使より  
田中外務大臣宛

日本答礼人形の米國各地における歡迎および  
日本側への謝意表明等に関するギューリック  
博士の談話について

普通公第四七七号

昭和三年九月十七日

(10月9日接受)

在米

一月八日関屋氏「ポストン」着同地日本協會ノ特ニ任命セル委員ノ出迎アリタリ

一月十日午後一時沢田参事官及関屋氏ヲ主賓トシテ「ポストン」教会連合會及日本協會主催ニ係ル午餐會「ユニヴァシター、クラブ」ニ於テ行ハレタリ

同夜午後八時「コップレープラザ」ニ於テ答礼人形ニ対スル「レセプション」催サレ約四百人ノ出席者アリタリ当夜ノ主要ナル出席者米國側「レヴィット」博士（ポストン教会連合會長該教会ハ五百ノ教会ヨリ成ル）、「ローランド・ジー・ホプキンス」夫人（外交政策協會會長協會員千六百名）、「コートネークロッカー」氏（日本協會會長）、日本側ハ澤田参事官、関屋前文部普通學務局長及佐々木属ナリトス「コートネークロッカー」氏、澤田参事官及「ギューリック」博士ノ順序ニ於テ交々起ツテ一場ノ挨拶ヲナシタリ又有名ナル「バリトン」歌手「エマソン」氏人形歡迎歌ヲ歌ヒ答礼人形ニ関スル活動写真ノ映写アリ極メテ盛會ナリシ由

一月十一日「ポストン」日本協會日本人名士接待委員長「ローズ・エル・テックスター」嬢邸ニ於テ澤田参事官、関

臨時代理大使 澤田 節藏（印）

外務大臣男爵 田中 義一殿

日本答礼人形ニ関スル「ギューリック」博士談話

報告ノ件

日本答礼人形ノ当國各地歡迎振ニ関シテハ客年十二月二十八日公第六九三号往信其他各公館ヨリノ報告ニテ御承知ノ通ナル処今般「ギューリック」博士ハ各地ノ歡迎振等報告旁々九月十七日日本官ヲ來訪シ米國各地ニ於ケル日本答礼人形ノ人氣ハ予想以上ニ旺盛ニシテ各州大小都市ヨリ之カ展覽會ヲ懇望シ來ルモノ殆ント競争ノ狀況ニテ結局四百余ノ都市ニ於テ六百余回ノ「レセプション」ヲ催シタルカ何レモ好結果ヲ挙げ本件關係者何レモ満悦至極ニ存シ居ル次第ナルカ只予想以上多數ノ都市ニ運搬セラレタル等ノ為メ之等入形ノ内ニハ既ニ衣裳ノ色彩ノ褪セタルモノ人形ノ足部等ノ折レタルモノ等モ出来タルコトハ頗ル遺憾トスルコト少カラス頗ル本懐ノ至リニ堪ヘスト述ヘ且ツ右人形ノ配付方ニ関シテハ世界兒童親善會幹部ニ於テ種々考慮シタルモ各方面ヨリ競ツテ右寄贈方懇請シ來ル実情ニテモアリ結局

人形五十八個ヲ先ツ四十八州ニ一個宛配付シ其ノ他ハ米国人形ノ寄贈及日本人形歓迎ニ関シ特別ノ熱心ト興味ヲ有シタル紐育、「マサチューセツト」、「オハイオ」等ノ各州ニ適宜分配シ之等各州ニ於ケル児童博物館又ハ州立博物館ニ配置シ只「ミス・ジャパン」ハ代表的作物ニテモアリ旁々在華府国立博物館ニ寄贈保存スルコトセリ斯クシテ之レ等人形ハ今後長ラク一般ノ展覧ニ供セラレ引続キ日本側好意ノ使者タル役目ヲ演スル次第ニテ之ニ対シテ各州知事及関係博物館長ヨリ其ノ配付ヲ受ケタル日本人形ノ代表セル日本ノ各府県知事ニ夫々感謝状ヲ發送セシムル様手配シ度キ積リナリト述ヘ居リタリ只「ミス・ジャパン」ニ付テハ米國大統領ヨリ感謝状ヲ發シ貫ヒ得レハ誠ニ結構ナルモ右ハ頗ル困難ノコトニテモアリ旁々結局之ニ対シテハ感謝状發送差控方ヲ唱フルモノモアリ如何ニ取計ヒ可然哉當惑シ居レリトテ本官ノ意向ヲ訊シタルニ付本官ハ元來本件ニ就テハ當國政府筋ニ於テ何等關係セサリシ行掛リモアリ旁々政府当局ヨリ感謝狀發送方ヲ期待スルコトハ困難ナルヘキカ日本各府県代表人形ニ対シテハ夫々其配付ヲ受ケタル各州知事等ヨリ感謝狀ヲ發セラルルニ拘ラス代表人形タル

付記

昭和五年四月一日付幣原外務大臣ヨリ在ヴァンクローヴァー福岡領事宛報ニ普通第二二号人形寄贈に対する謝意表明

公第二七五号

(12月7日接受)

昭和四年十一月十九日

在晚香坡

領事 福岡 豊吉 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

B・C州教師父母会連盟ヨリ日本児童へ人形寄贈

ノ件

去八月十日帝國練習艦隊晚香坡寄港ニ際シB・C州教師父母連盟 (Parents and Teachers Federation of B. C.) 日本児童ニ贈与ノ為公立学校生徒作製ノ人形及絵画ヲ同艦隊へ託送シ度キ趣ヲ以テ其ノ斡旋方ヲ當館ニ願出タルニ付艦隊側ト交渉ノ結果其ノ承諾ヲ得タルヲ以テ同連盟國際好意委員会 (International Goodwill Committee) 委員長及委員五名ハ八月十日旗艦淺間ニ野村司令官ヲ訪問シテ其ノ趣旨ヲ述ヘ前頭寄贈品ヲ託シタルカ右ハ同艦隊本邦帰着ノ上文部当局へ移送セラルヘキ筈ナルニ付同当局ニ於テ右

「ミス・ジャパン」ニ対シ何等ノ挨拶ナキコトハ面白カラスト思考セラルルニ付少クトモ其ノ配付ヲ受ケタル国立博物館長及世界児童親善会會長ヨリ夫々日本國際児童親善会會長宛感謝狀ヲ差出シ同會長ノ裁量ニヨリ然ルヘキ筋ヘ右ノ謝意轉達依頼方取計ラハルコト最モ適當ナルヘシト思考セラルル旨答ヘタル処同博士ハ之ヲ首肯シ関係者ト協議ノ上何分ノ決定ヲナスヘキ様述ヘ居リタリ

右報告申進ス 本信写送付先 在紐育、桑港各総領事

(欄外記入)

「ミス・ジャパン」其他五十八個ノ人形ノ処分方並米國側ヨリ对本邦関係者側ヘノ謝意表示方ニ関スル「ギ」博士仲介斡旋ノ經過報告今少シク經過發展ヲ見タル上関係者へ通報ノコト

部長承知

341 昭和4年11月19日

在ヴァンクローヴァー福岡領事ヨリ 幣原外務大臣宛

B・C州教師父母会連盟ヨリ日本児童へ人形

寄贈について

寄贈品受領ノ上ハ先方ニ対シ何分ノ挨拶相成様致度尚其ノ後右委員ノ一人タル山家安太郎ヨリ同連盟ノ組織、事業及将来日加児童間ノ好意交換方等ニ関シ本官宛別紙写ノ通申出ノ次第アリタルトコロ就中彼我児童間ニ好意交換ヲ実行スルコトハ日加親善ノ一助トモ可相成儀ニ付別紙写文部当局へ御移牒ノ上我方ニ於テモ出來得ル丈同連盟ノ希望ニ副フ様可然御取計ヲ得度此段報告旁々申進ス

(別紙)

拝呈

今般當ビ一・シー州教師父母会連盟内國際善意委員会ヨリ日本児童への贈物ニ當州公立学校生徒の作製にかかる人形十二個及び絵画を帝國練習艦隊に託送の件御取計被下謝し奉り候同部委員長エー・イー・デルメージ夫人ヨリ会の目的事業など司令官ヘ口述致され且それに関する印刷物も添付致し居り候へ共為念大略申述へ候事其目的達成上徒事ならざる事と信し申候

右 Parents and Teachers Federation of B. C. は当州各地方の公立学校 (パブリック及びハイスクール) の教育上家庭及び学校の連絡機関としての会にて目下二百五十団体総

会員九千五百を統一する機関に御座候米国にても当加奈陀にても其各州の連盟がコングレスを作り中央統一の仕事に致し居り候

名実共に公民教育上輿論の源泉にして文部省当路の諮問機関として年を追ふて発展致し居り候

本年ゼネバに於て開催せらる可万国教育会議へ当連盟よりジャマイソン（バーナビー判事）夫人を送る事に相成居る次第に候事業としては不良雑誌映画などの監視より保健、安全教育、教育組織の改善、図書、国際善意教育などに至る迄各部に分ちて致し居り候特に国際善意部の事業として、廃戦根本運動として児童に世界同胞主義を教へ種々なる方法に依つて幼い魂に外国民に対する友情を培はんとするものにて一千九百二十六年サン・フランシスコにて開催せられし世界教育会議の趣意に基き毎年五月十八日を国際善意日と定め種々なる行事を致し居り今回日本児童への賜物も其の記念日の作製品に御座候太平洋兩岸の二世の親交促進は来る可き時代の為に最も意義ある事と存し候就ては此意を添えて祖国文部省を通して両国児童のパーソナル・タツチの機会となすやふ御取計らい被下度日本文にてよろし

本件ニ関シ三月七日付公第五二号ヲ以テ御申越ノ趣敬承依テ右文部省へ通報シ置ケル処今般別紙ノ通同省ノ謝辞先方へ伝達方依頼越セルニ付右可然御取計相成度此段申進ス

く貴官を通して善意文書の交換が出来れば一層有効と存し候此の企は昨年已に米合衆国ビー・テキー・コングレス・オブ・ユナイテッド・ステートと祖国間に行なわれたる筈にて文部省当局にてよきに取計らい下さる事と存候尚今後とも両国善意交換の為に御援助下さる事を信し御願申上候

謹白

一九二九年八月一〇日

ビー・シー州父母教師会連盟常務委員

ヘネー 山家 安太郎

在晚香坡帝国領事

福岡 豊吉殿

（付記）

報二普通第二二号

昭和五年四月十一日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎

在晚香坡領事

福岡 豊吉殿  
加奈陀B・C州教師父母会連盟ヨリ日本児童へ

人形寄贈ノ件

(2) 帝都復興答札使関係

342 昭和5年3月5日

幣原外務大臣より  
在米国出淵大使他宛

関東大震災当時の米国の援助に謝意表明のための  
の婦人代表派遣計画

付記 昭和五年二月

代表派遣に関する時事新報社告

報二普通合第二六二号

昭和五年三月五日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎

在外公館長殿

時事新報社主催遣米答札使節派遣ノ件

今般時事新報社ニ於テハ東京横浜両市ノ復興事業漸ク完成ニ近ツケル機会ニ於テ大正十二年震災当時一般米国民ヨリ寄セラレタル同情援助ニ対スル感謝ノ意ヲ伝達シ併セテ両市更生ノ実状ヲ当年ノ同情者タル個人及公私団体ニ報告スルノ目的ヲ以テ本邦名士若干名ヨリ成レル銓衡委員ノ選定セル蘆野きみ子、徳田純子、佐藤美子、松平佳子ノ四名